

街の変化 魅力発信

「THE SAKAE TIMES」

中村区の会社フリーマガジン創刊



発行したサカエ・タイムズを紹介する編集長の赤崎さん(中村区大秋町で)

名古屋市中心とした東海地方の文化やグルメ、企業情報を幅広く紹介するフリーマガジン「THE SAKAE TIMES(サカエ・タイムズ)」を、中村区大秋町のソフトウェア開発会社「カーネルコンセプト」が創刊した。インターネット全盛の時代に、あえて紙媒体にこだわって情報発信。新型コロナウイルス感染拡大が続く中、「少しでも元気になれるような情報」を「と編集に力を入れている。(大野雄一郎)

サカエ・タイムズはA4 備号に続き、昨年十月に創刊十二号のカラー刷りで部 刊号、一月二十三日に第二数は五万部。昨夏の創刊準備 号を出した。現在は隔月で

発行しているが、将来的には頻度を高めることも検討されている。創刊のきっかけは、栄の街の変化だった。栄では近年、中部電力ミライタワー(名古屋テレビ塔)のリニューアルや、各種ショップが立ち並び、「Hisayaodo Park」のオープンなど新たなシンボルが誕生。名古屋観光コンベンション

カラー12名 名駅などで配布

ビュローの理事でもある編集長の赤崎真紀子さん(左)は「栄のイメージが変わったのを契機に、情報発信力を強化したい」と思っただけでなく、近隣の話題やグルメ情報のほか、地元タレントが医療関係者と対談するコーナーも設けている。サカエ・タイムズでは、全ての記事と広告にQRコードを添えている。赤崎さんによると、これは「情報の入り口にしてほしい」という意図だ。「インターネットでは自分に関心のあることしか検索しない。触れてもらいたい情報を紙で示し、そこからネットに飛んでもらえれば」と話す。市内では、名駅と金山、オアシス21にある観光案内所やウイंकあいち(中村区)などで配布している。赤崎さんは「すばらしい文化や企業を地元の人が知らないことも多い。もっとPRしながら、飲食や旅行業界も元気つけていけたら」と展望している。

市民版



干物
青木隆夫(西区)
等辺会

ニュース、情報は社会部へ
231-7333 Fax201-4331
Eメール
shakai@chunichi.co.jp
中日新聞へのご意見は
読者センターへ
221-0800 Fax221-0819
Eメール
center@chunichi.co.jp

掲載写真を購入希望の方は
最寄りの中日新聞販売店へ

学問守護・厄除招福・交通安全
名古屋天神
名古屋天満堂

電話0126(81)07 FAX0126(81)0111
名古屋市中村区赤坂町4-89

- 合格祈願 ●形遣い
- 自動車検 ●安産祈願
- 初宮詣り ●七五三詣
- 地鎮祭 ●竣工祭
- 各種ご祈禱 ●出張祭
- 年中 受付